

令和6年4月1日

福島大学と福島国際研究教育機構との委託研究事業 「浜通り地域の資源を利活用した高効率・循環型ネガティブ エミッション・地産地消システム」

福島大学を代表とするコンソーシアムが申請した事業が、福島国際研究教育機構（F-REI）公募事業に採択され、3月28日付で委託契約を締結しました。

令和5年度「ネガティブエミッションのコア技術の研究開発・実証委託事業」のテーマ（1）植物のCO₂固定及びネガティブエミッションへの利用に関する研究開発において、「浜通り地域の資源を利活用した高効率・循環型ネガティブエミッション・地産地消システム」事業に取り組みます。

事業名：浜通り地域の資源を利活用した高効率・循環型ネガティブエミッション・地産地消システム

研究分野：第3分野（エネルギー）

実施体制：浜通り地域の資源を利活用した高効率・循環型ネガティブエミッション・地産地消システムコンソーシアム

代表機関：福島大学 共生システム理工学類 教授 浅田隆志（研究代表者）
食農学類 教授 新田洋司

参画機関：常磐共同火力株式会社

事業内容：未利用材等のバイオマスの炭化プロセスにおいて生成する水素や一酸化炭素等の可燃ガスを燃料としてガスエンジン等を用いて熱電供給するエネルギー利用システムを開発し、さらに、炭化プロセスにおいて同時に製造されるバイオ炭を農地施用することにより炭素貯留するネガティブエミッション技術を構築する。

事業予定期間：令和5年度～令和11年度
（ただし、実施期間中の各種評価等により変更があり得る）

（お問い合わせ先）

福島大学 研究・地域連携課 鈴木

電話：024-548-5248 メール：chizai@adb.fukushima-u.ac.jp